

中国の空港、港湾における
放射線検査の実施状況と根拠について

2011年4月8日

在中華人民共和国大使館經濟部

●現在、中国の空港、港湾において、日本発の航空機、船舶及びこれらに搭載する貨物、旅客等に対する放射線検査を実施中。

●国家質検総局の説明によれば、本検査の根拠となる国家標準及び検査基準値は以下のとおり。

① 事前警報標準（汚染されている可能性がある対象を抽出するための検査基準）
「 γ 剂量率値 \geq バックグラウンド値の3倍」

<根拠規定>

・「放射線緊急事態時の評価及び対応のための一般的手順」（IAEA（国際原子力機関）（2000年）手順書D2（人及び機器の除染）中の記載「バックグラウンドの2倍を超える汚染が検出されるレベルは除染が企図されるべきである」

② 表面汚染判定標準（汚染されているか否かを判断する検査基準）

「 α 線値 $\geq 0.04 \text{ Bq} / \text{平方センチメートル}$ 」

「 β 線値 $\geq 0.4 \text{ Bq} / \text{平方センチメートル}$ 」

<根拠規定>

・GB18771-2002「電離放射防止・保護と放射源の安全基本標準」表B11（作業区域の放射線表面汚染コントロール水準）の「手・皮膚・下着・作業用靴下」

・GB11806-2004「放射性物質安全運輸規程」3.14（表面汚染）

（了）